

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	サイバーナイフ治療における Fiducial Marker 埋め込み式剛体治具を用いた位置照合精度向上のための研究
研究責任	聖隷浜松病院 放射線部 長谷川晋也
研究実施体制	聖隷浜松病院 放射線部 安間啓 聖隷浜松病院 放射線部 磯貝健太
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 3 月 31 日
対象者	聖隷浜松病院腫瘍放射線科の Cyber Knife 治療において、Fiducial Marker を体表面に貼り(Fiducial Marker 埋め込み式剛体治具を用いる場合も含む)、Fiducial Tracking により位置照合を実施する患者さんを対象とします。
研究の意義・目的	サイバーナイフを使用し皮膚に近い部位の照射を行う場合、Fiducial Marker を体表面に貼り、Fiducial Tracking により位置照合を行います。その際、Fiducial Marker は体表面に付けられた印に合わせて貼りますが、わずかなズレや皮膚の伸縮が画像照合に影響を与えることがあるため、当院では Fiducial Marker 埋め込み式剛体治具を体表面に設置し画像照合を行っています。このとき撮影された照合画像を解析し位置照合精度が向上するような方法を検討することで、より高精度な位置照合が可能となることが期待されます。
研究の方法	【研究のデザイン】後向き観察研究 【方法】対象患者の位置照合画像についてソフトを用いて Fiducial Marker の設置方法の違いによる位置照合精度の差を計測し解析する。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 放射線部 (氏名)長谷川晋也 TEL:053-474-2222(代表) 放射線部 9:00～17:00 平日